

マンガで学ぶ新潟市の「湯」

白鳥の別荘

里

さ
か
と
た

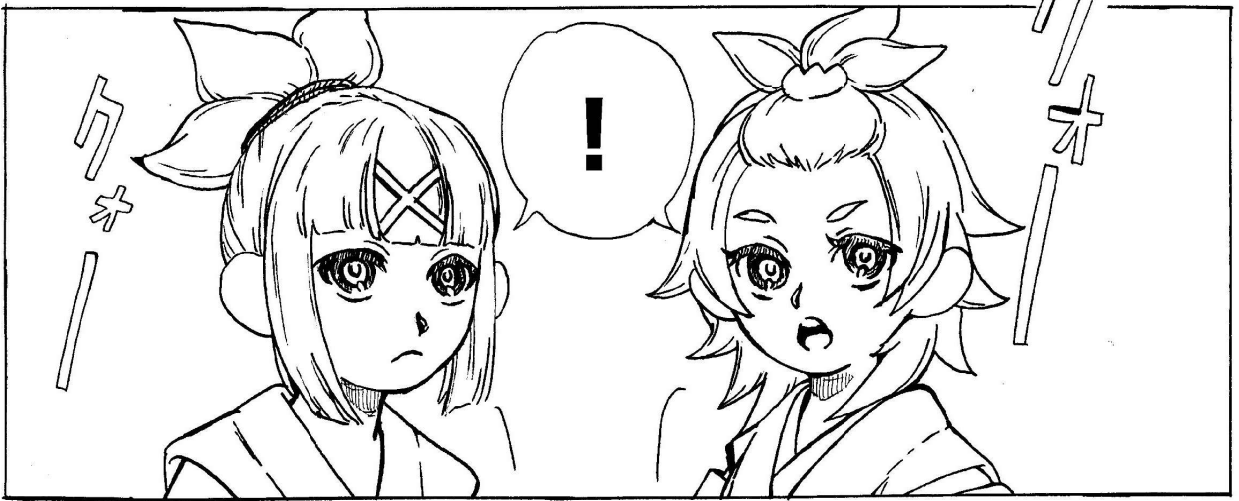
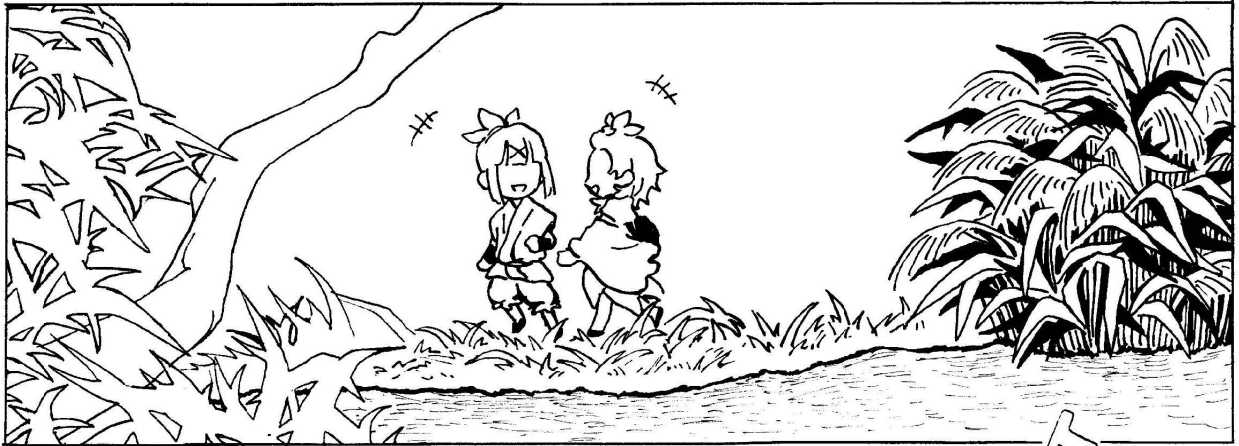
湯

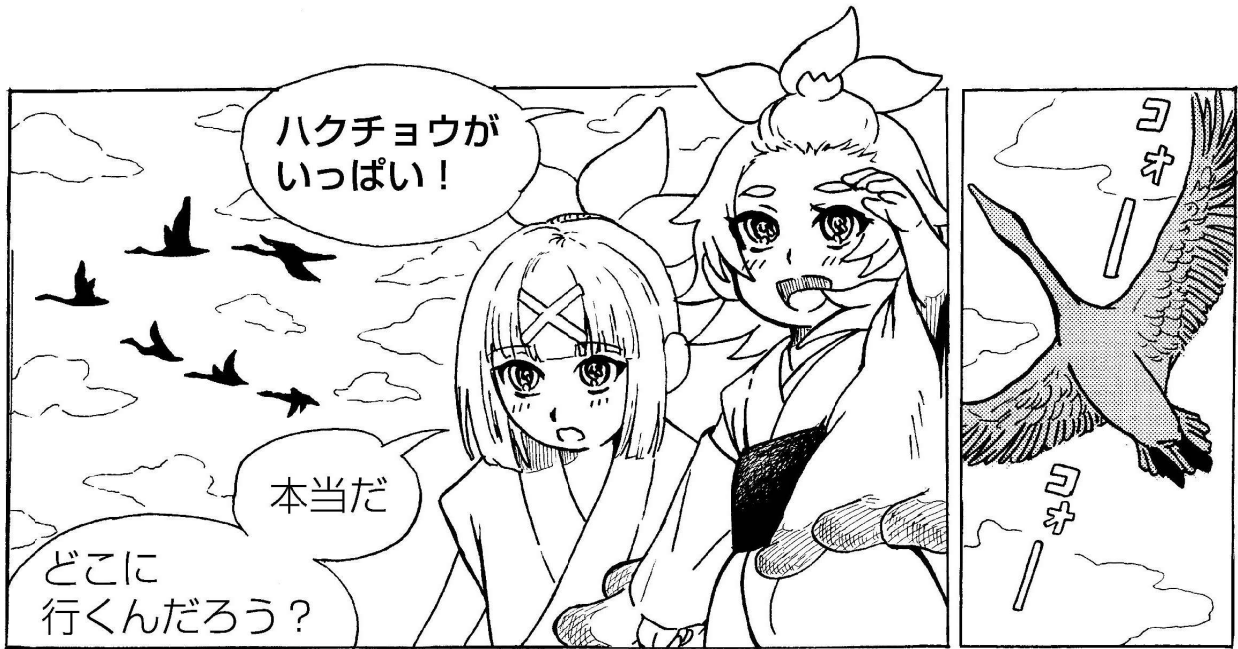


ハクチョウと学ぶ
湯と自然

 新潟市
City of Niigata

 開志専門職大学
KAISHI PROFESSIONAL UNIVERSITY



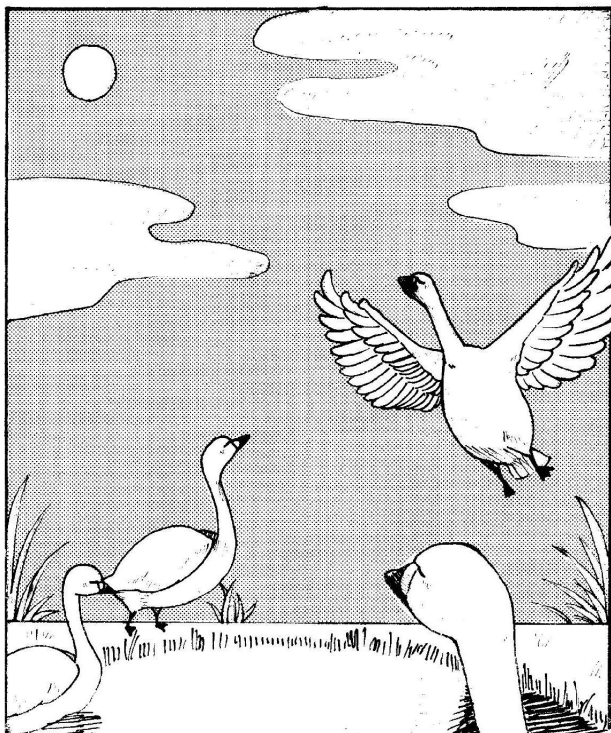




うんうん
それはね…



そうそう
ところで どうして
ハクチョウさんたちが
新潟に来てるの？



ぼくたちは秋になると
シベリアという
寒いところから
新潟へ来るんだ

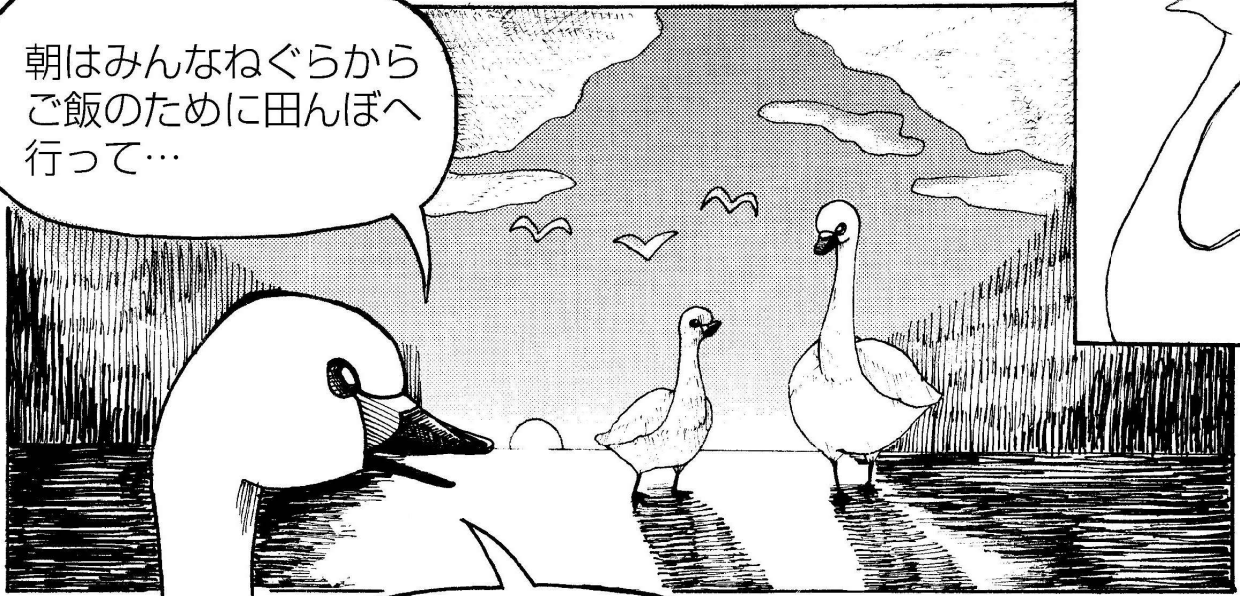
シベリア



このときの気候が
ぼくたちには
ちょうど良くてね

新潟

朝はみんなねぐらから
ご飯のために田んぼへ
行って…

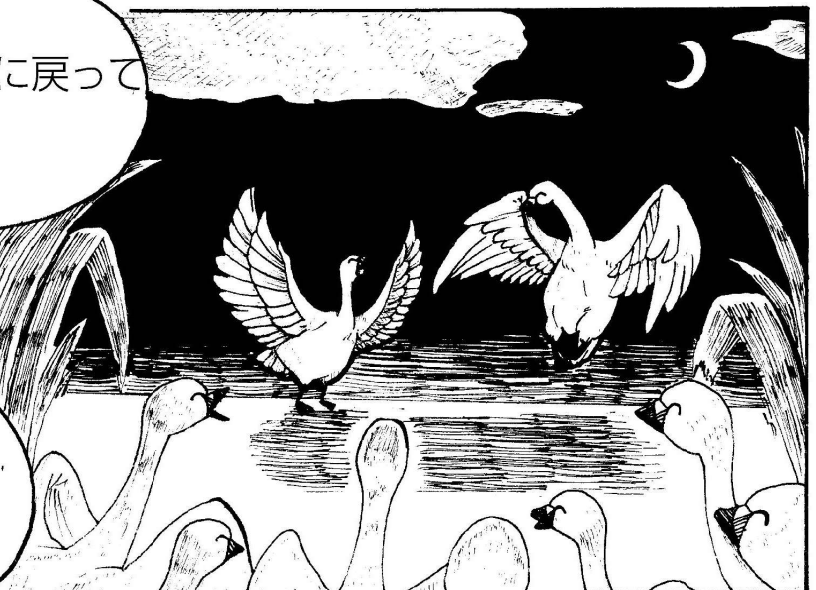


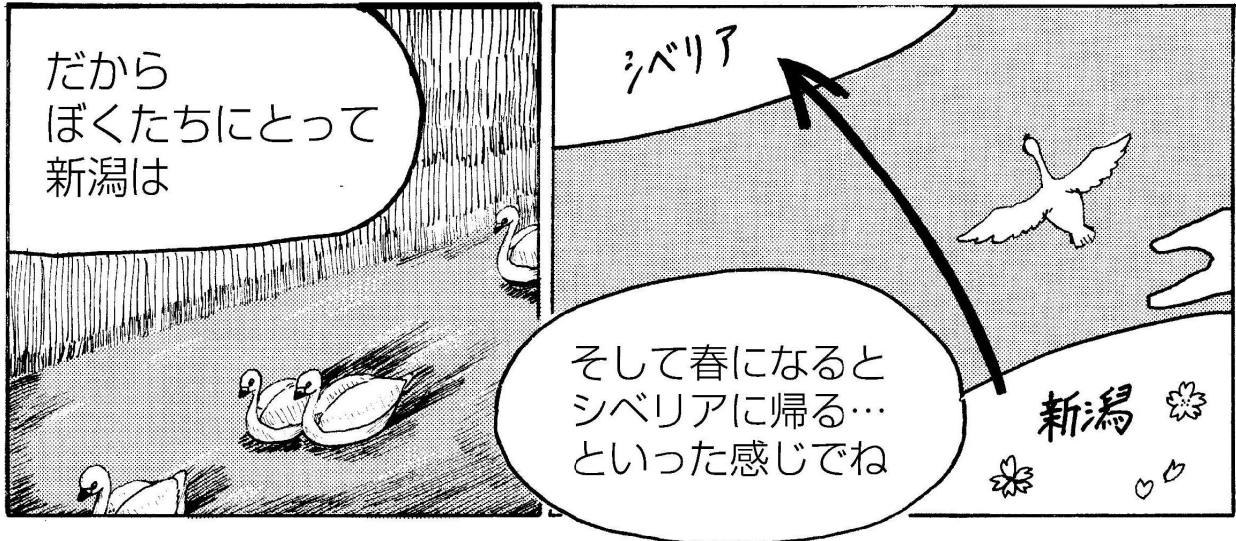
そこで
ご飯を食べたり
寝たりして
昼を過ごして…

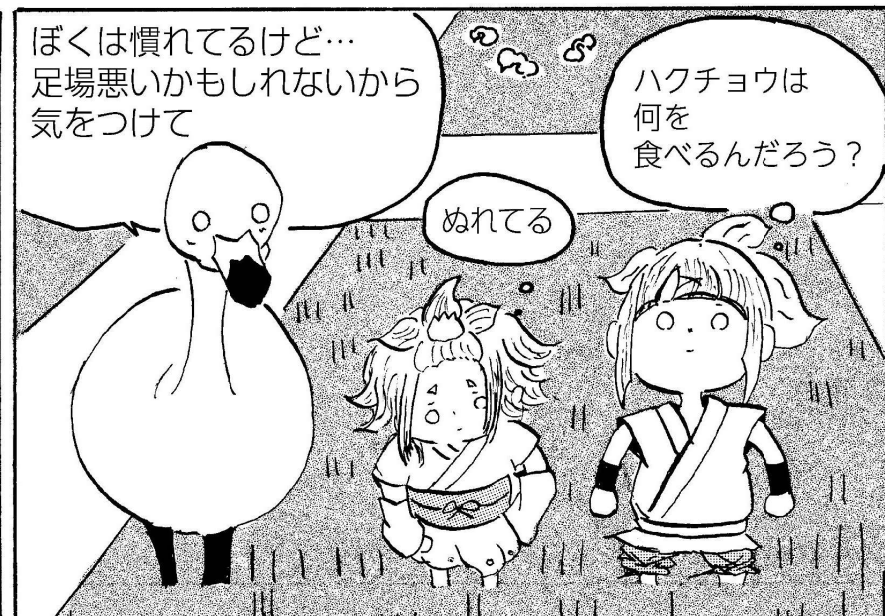
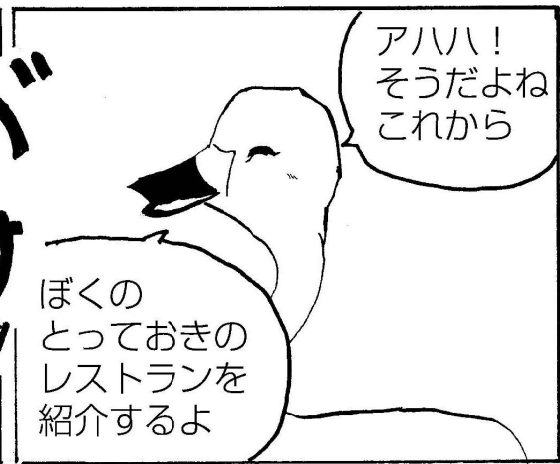
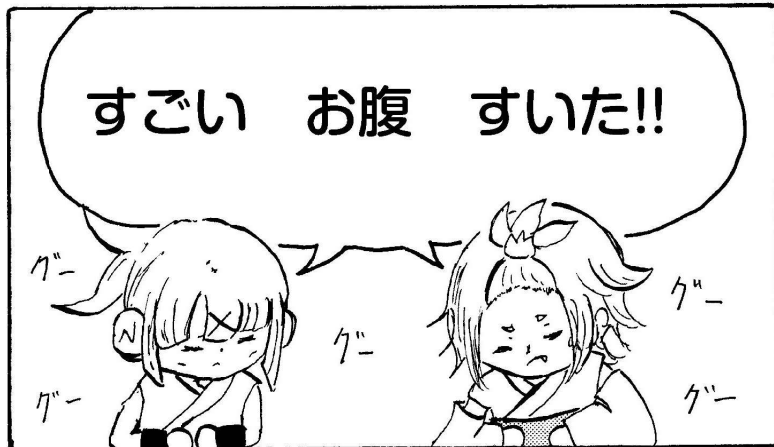


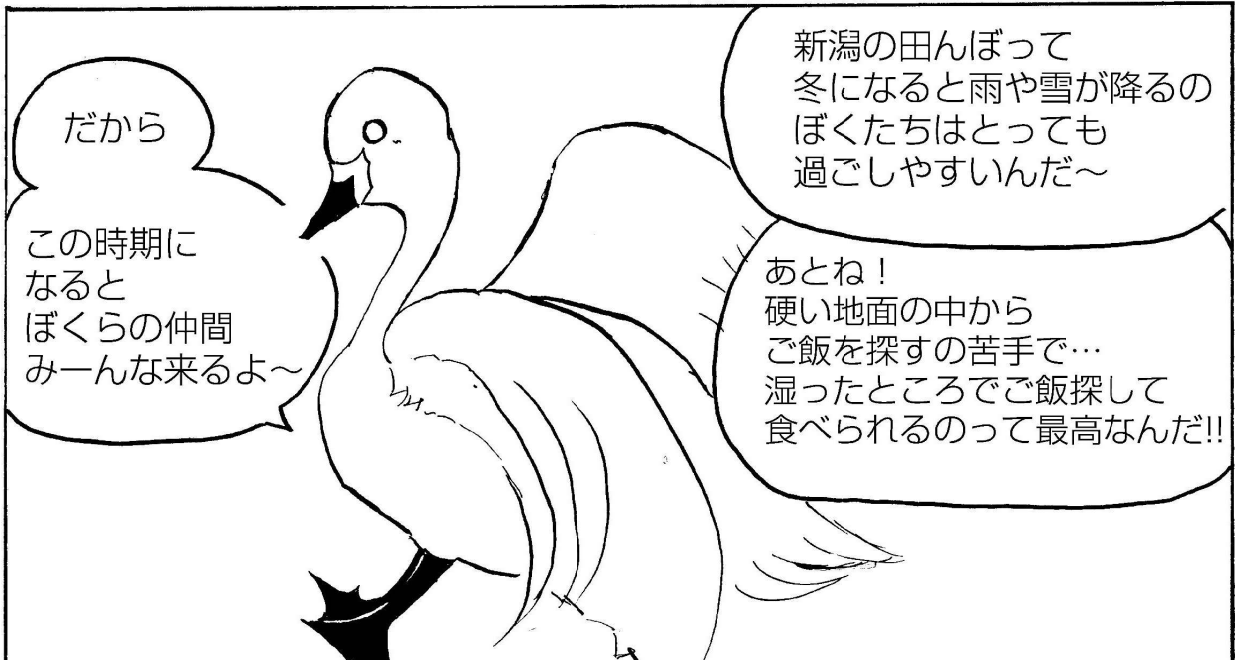
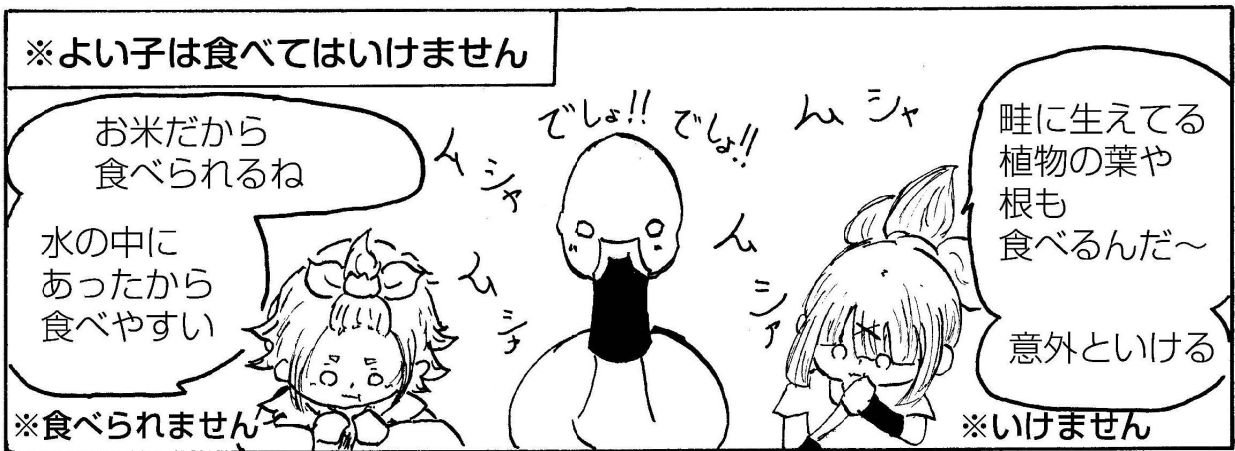
そして夜になると
ねぐらのある水辺に戻って
みんなにぎやかに
過ごしてるよ!

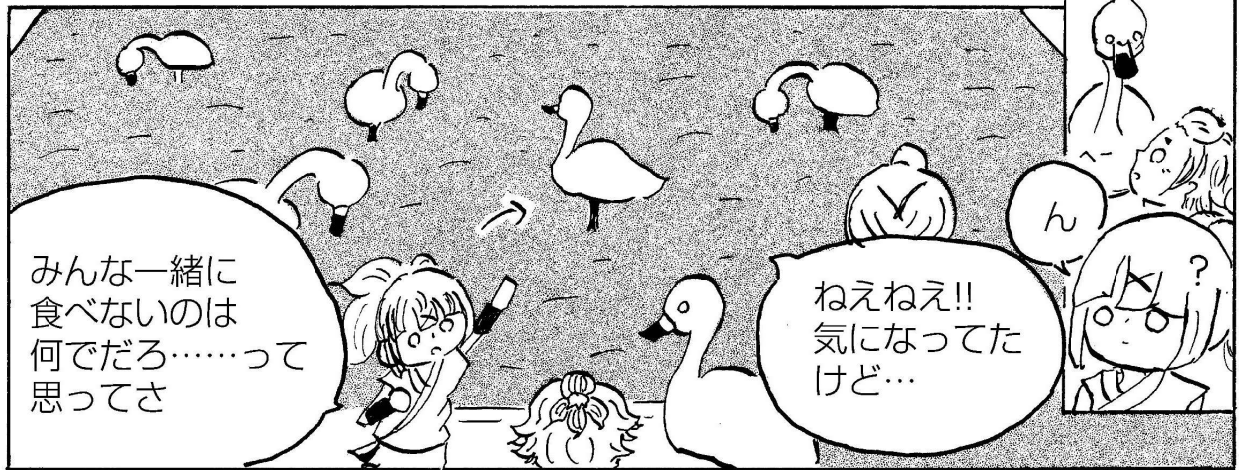
ぼくたちは大体
こんな1日を
送っているんだ!





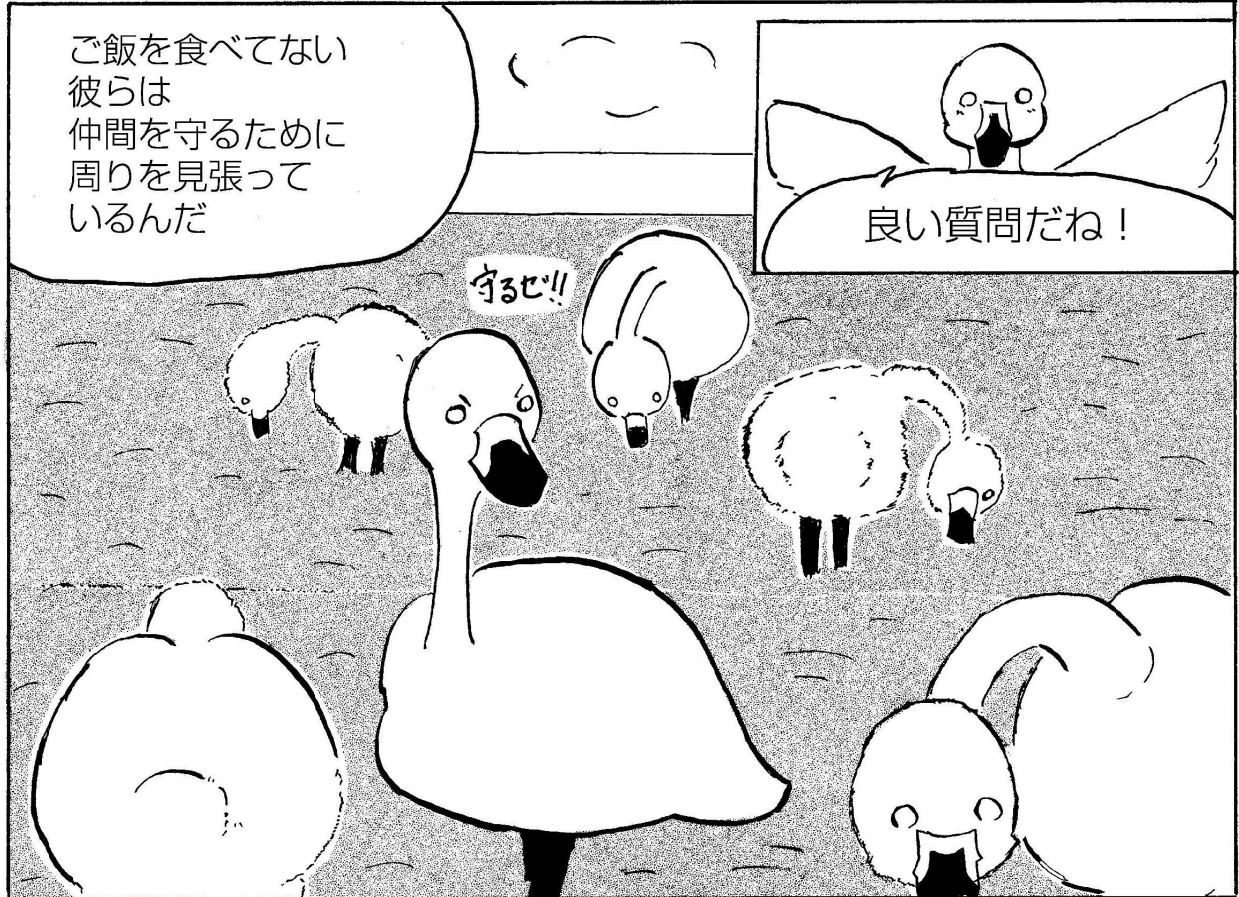






みんな一緒に
食べないのは
何でだろ……って
思ってさ

ねえねえ!!
気になってた
けど…



ご飯を食べてない
彼らは
仲間を守るために
周りを見張って
いるんだ

良い質問だね!

守るせ!!



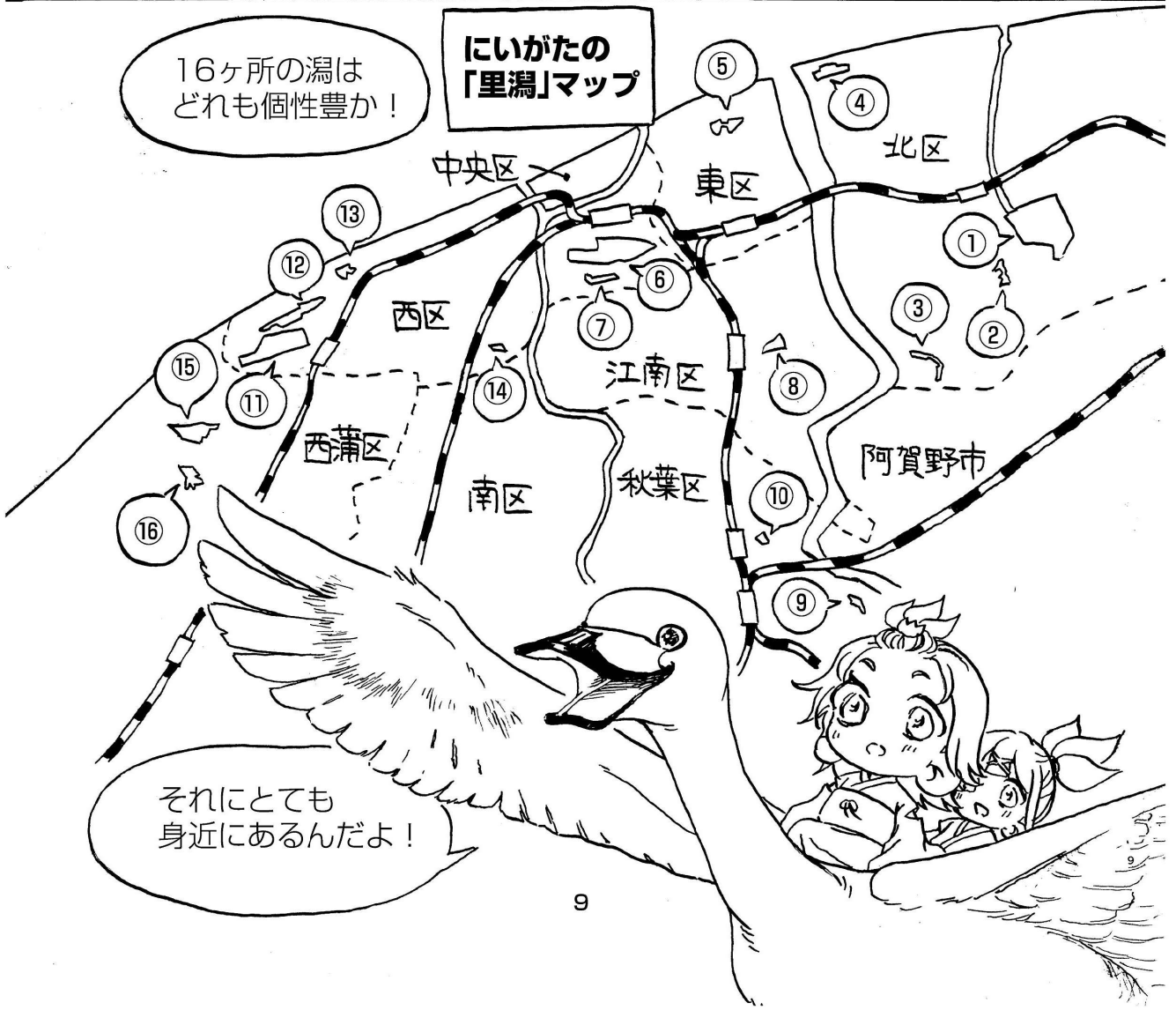
さあ!! お腹いっぱい
になったところで…

次へ行こう!!

はいじょうぶ?

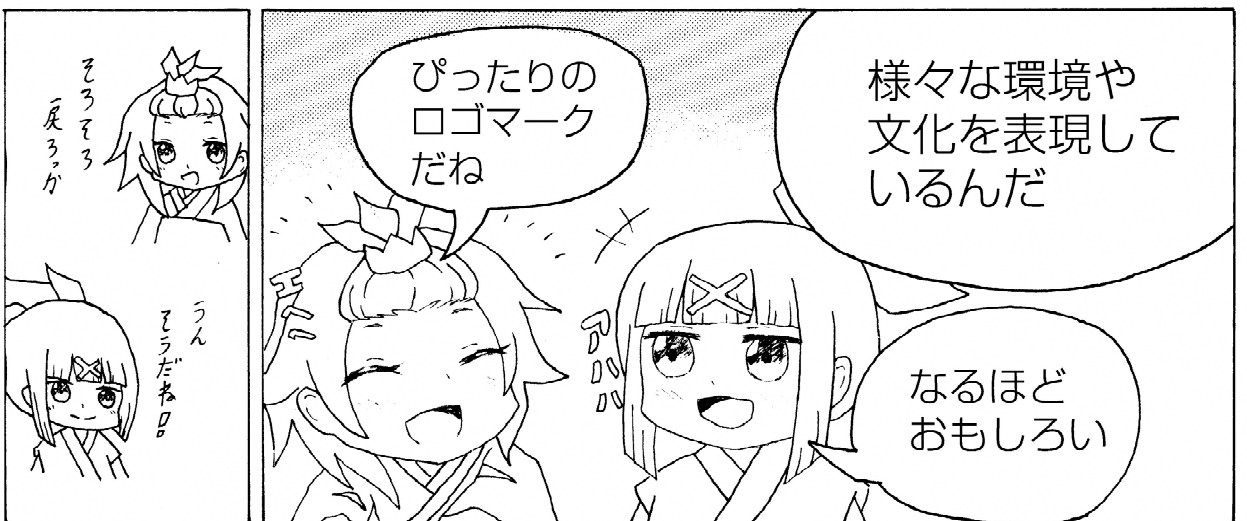
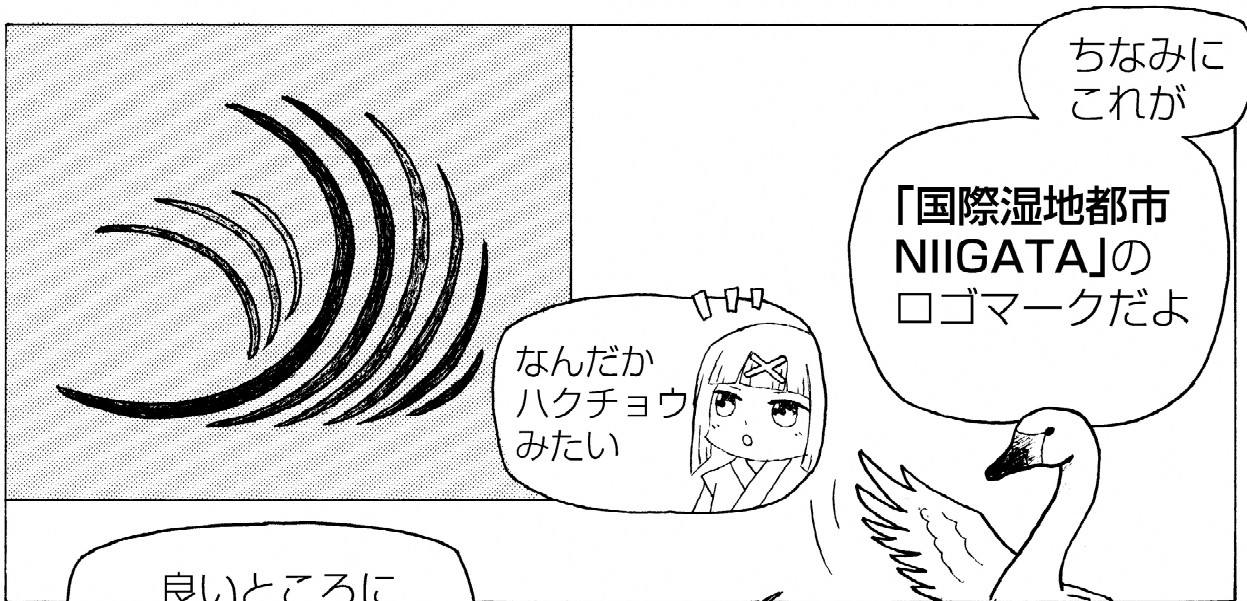
よさ..

川

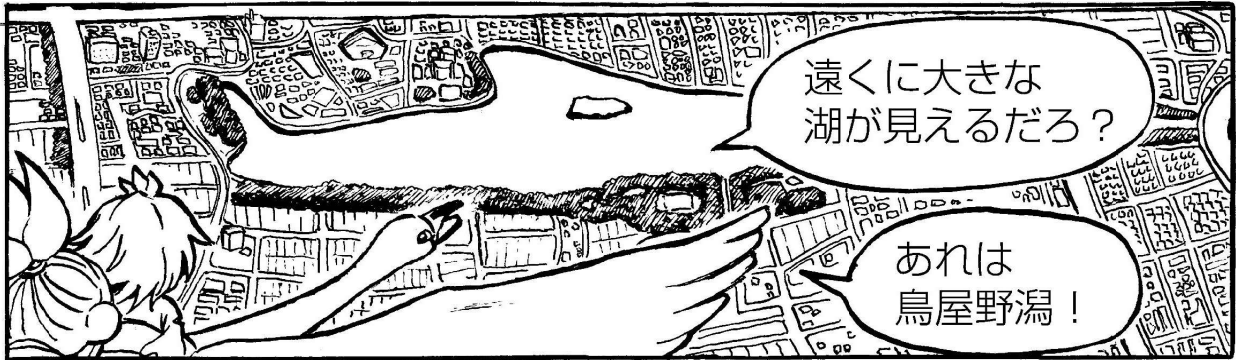






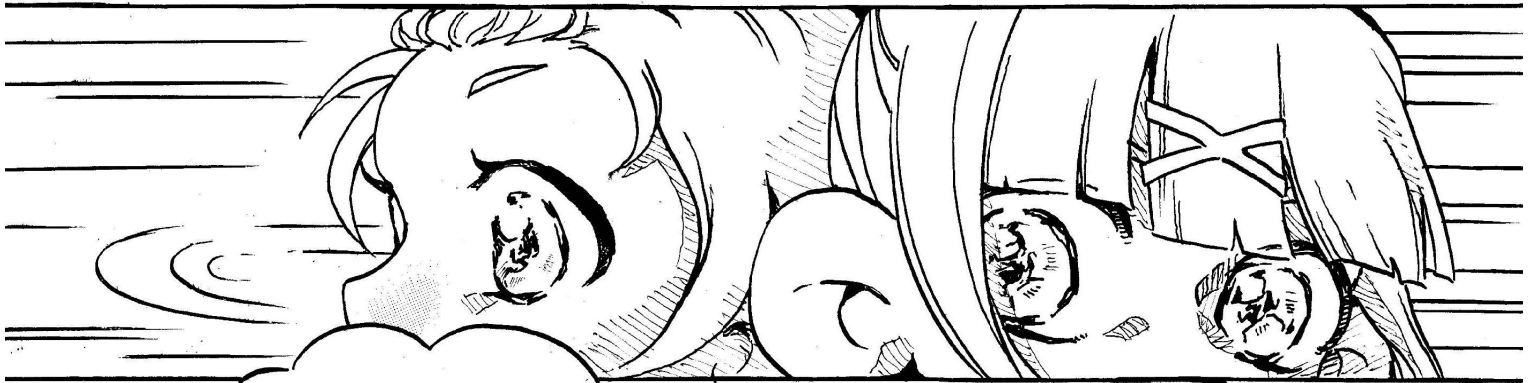




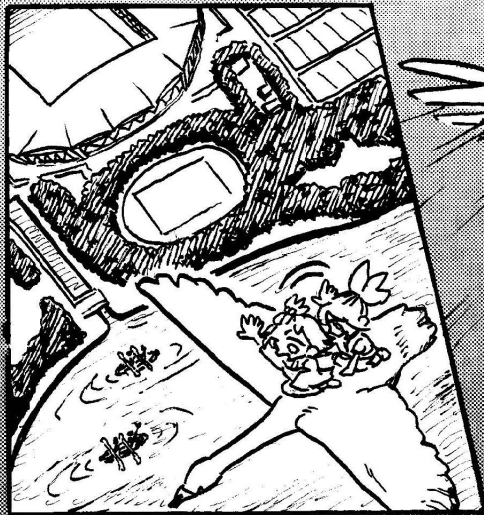




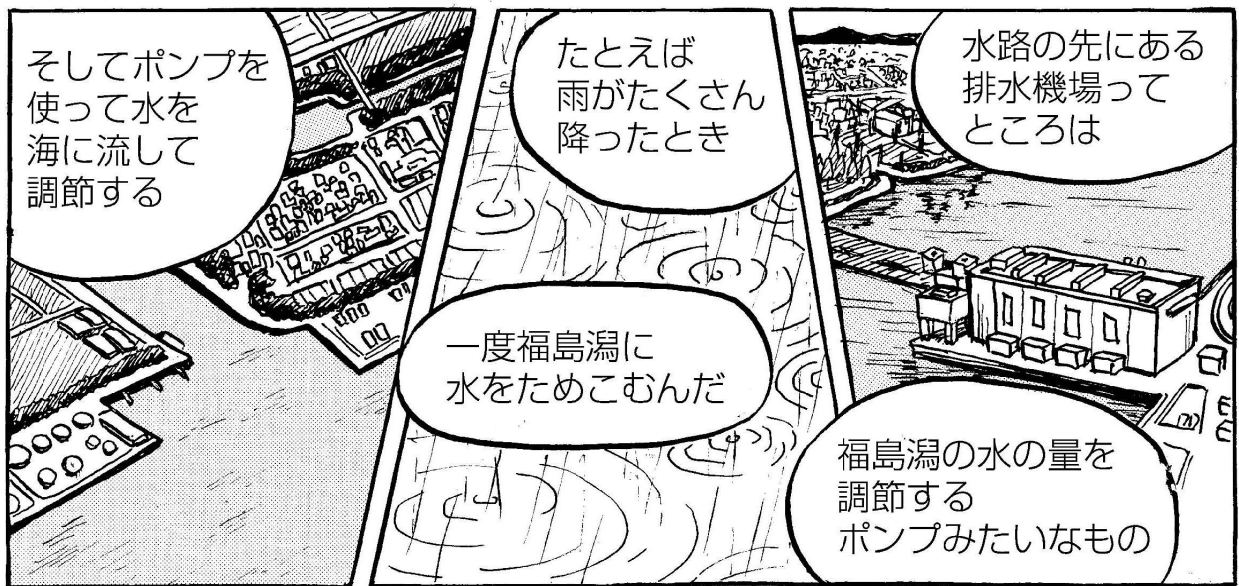
かがんで!



わあ~!!









ここは
佐潟だよ～

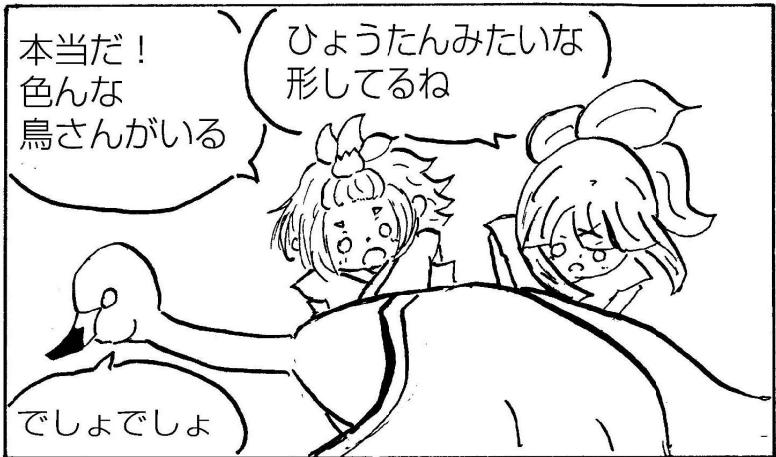
あれ～
ここは？

ぼくたちと同じ
ハクチョウの子や
他の鳥たちも
よく来る
有名なスポットさ



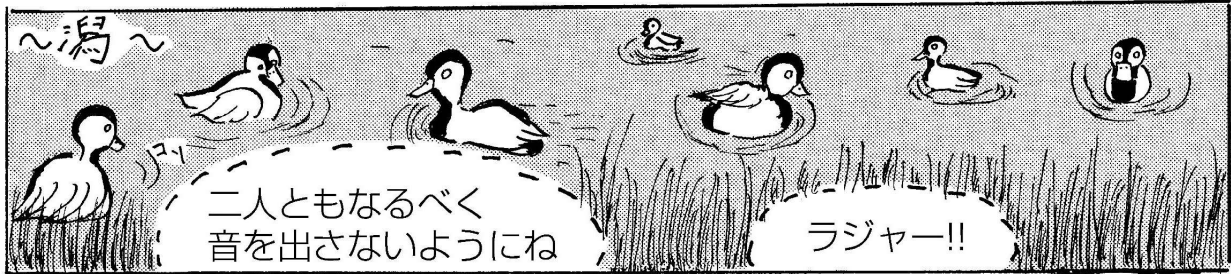
へー!!
あとね佐潟は
世界でも珍しい
海水が入って
ない場所で

昔はそのお水を
使ってお米を
育ててた
らしいよ



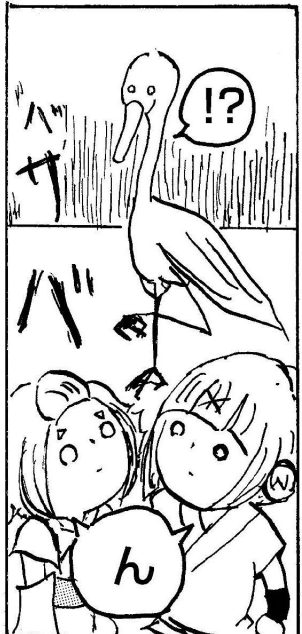
本当だ!
色んな
鳥さんがいる
でしょでしょ

ひょうたんみたいなの
形してるね



二人ともなるべく
音を出さないようにね

ラジャー!!



!?
ハハ
ん



この潟の近くには鳥のほか
魚・カメ・カエルが多いよ
あと
ぼくたちの後ろに林道には
タヌキ・ヘビ・モグラとか

え? ヘビに
モグラもいるの?
たくさんの生き物が
佐潟で暮らして
いるよ!

それはね

ハクチョウさん
何でこんなに水鳥たちが
佐潟に来るの？

人間さんが
少ないとき
出てくるんだ
よね

び...
びっくり
した...

ドド
ドド

「ラムサール条約」？

それに
佐潟は

う〜ん

ココが
心地良い
からかな

ラムサール
条約に
登録されて
いるからね

敵もいないし
エサも近く
にある

とても良い
条約だね
ぼくたちも見たこと
伝えていこ!!

ありがとう

そうだね

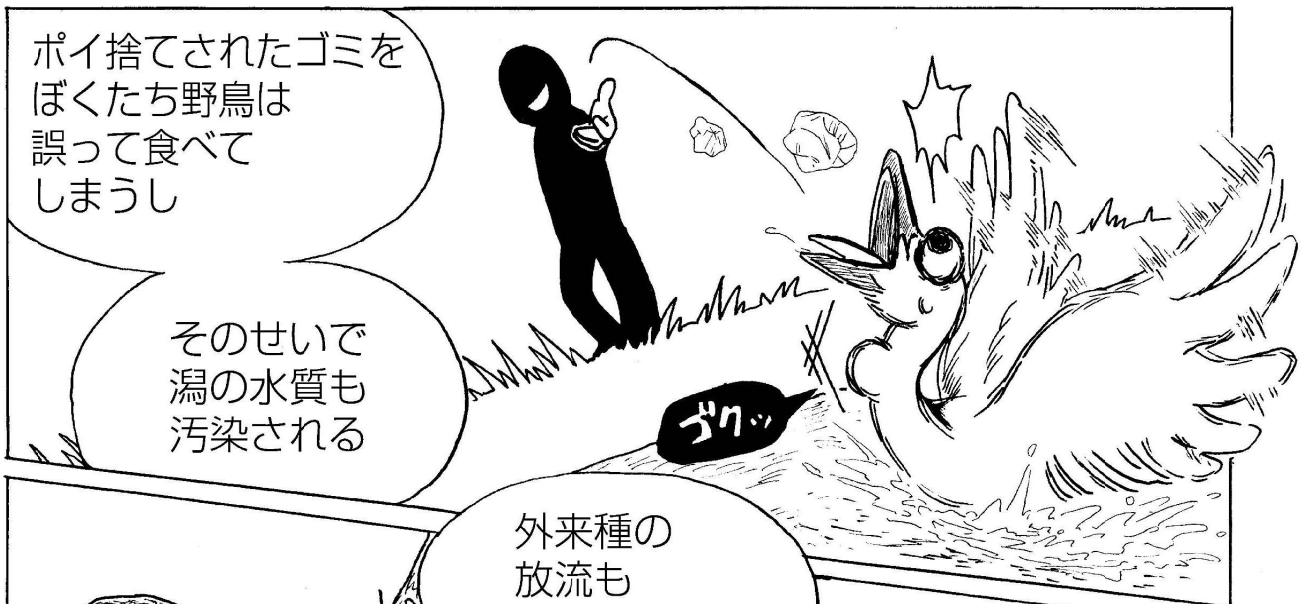
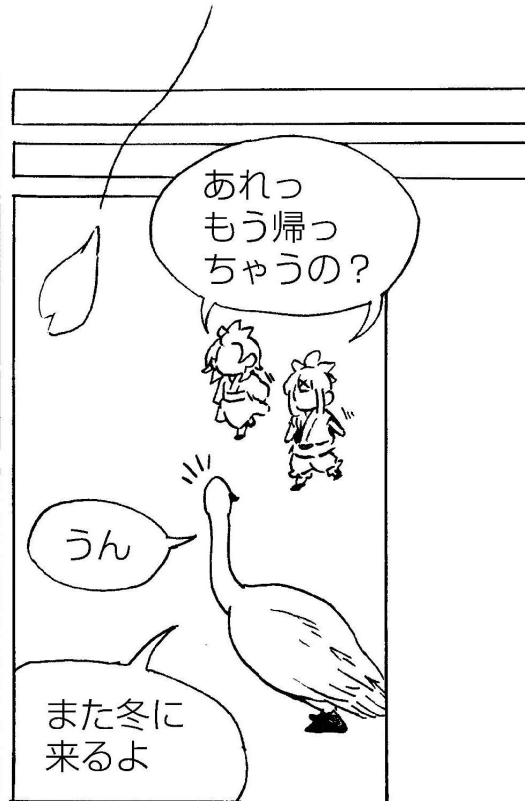
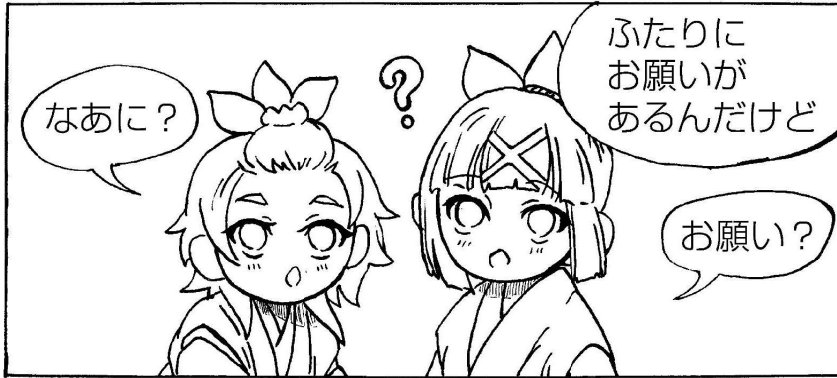
ラムサール条約

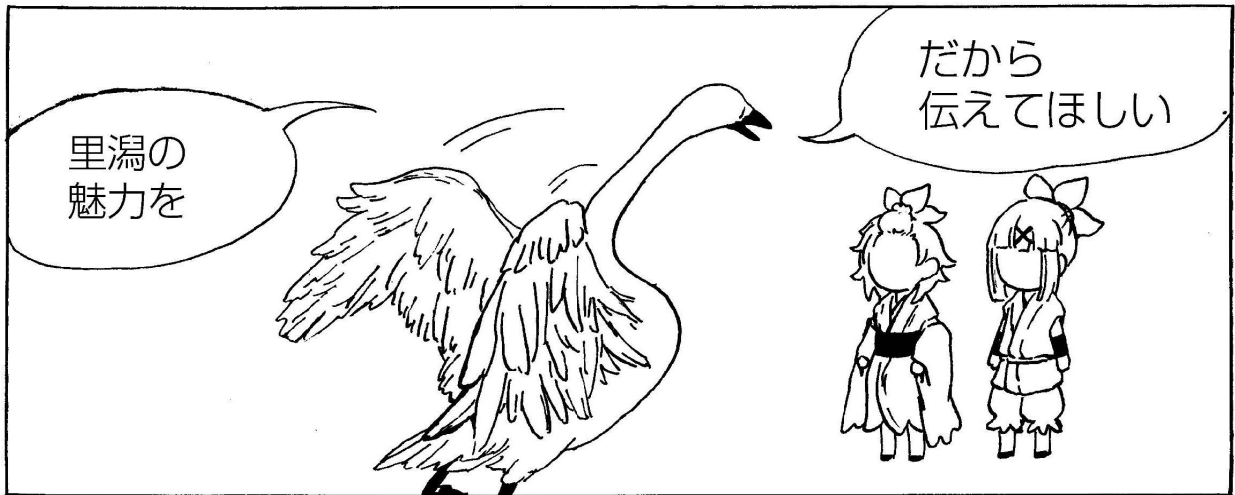
おしえて〜
ハクチョウ先生〜

ラムサール条約とは、
水鳥などの生き物がすむ
大切な湿地を守るための
国際的な約束です。
この条約に入っている国は、
自分の国の中で
保護する湿地を決めて
一所懸命守らなければ
ならないよ!!

わかったかな？

ハイ





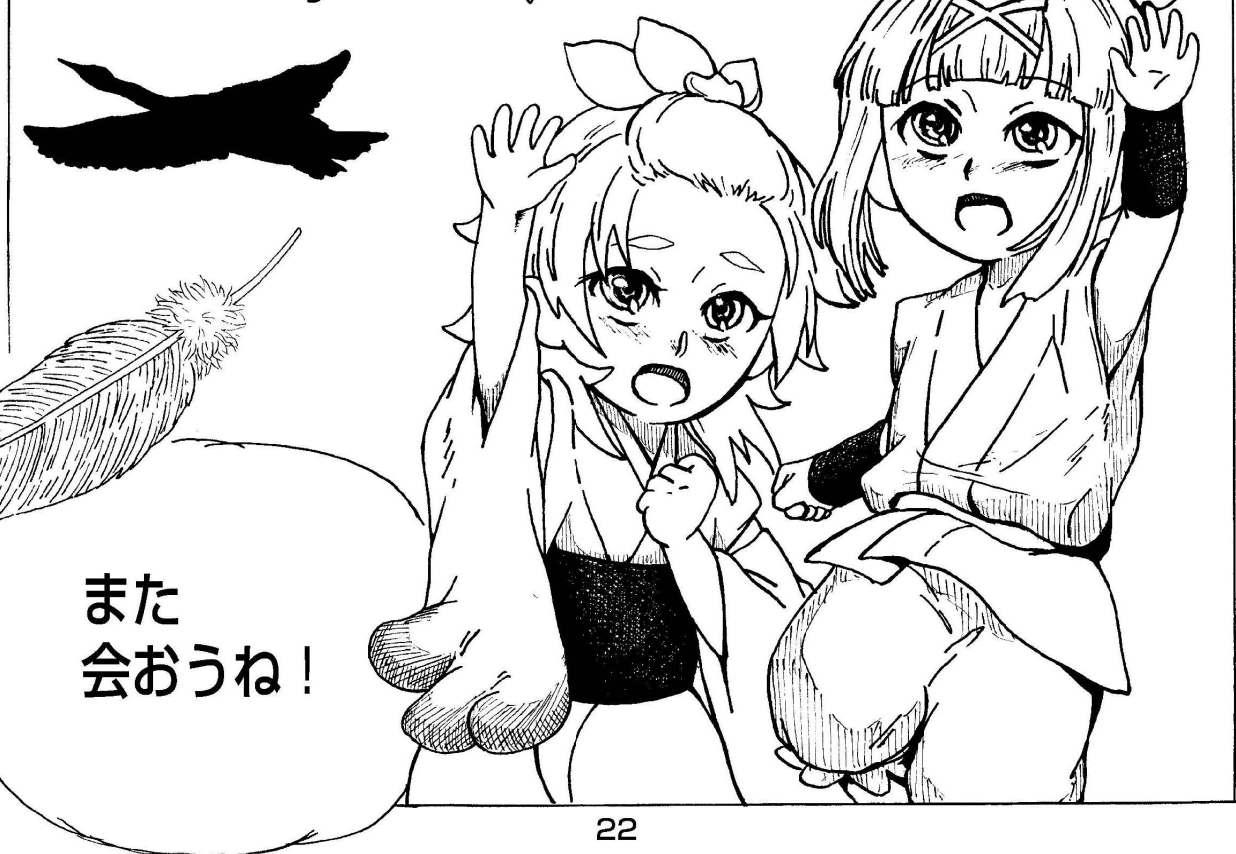
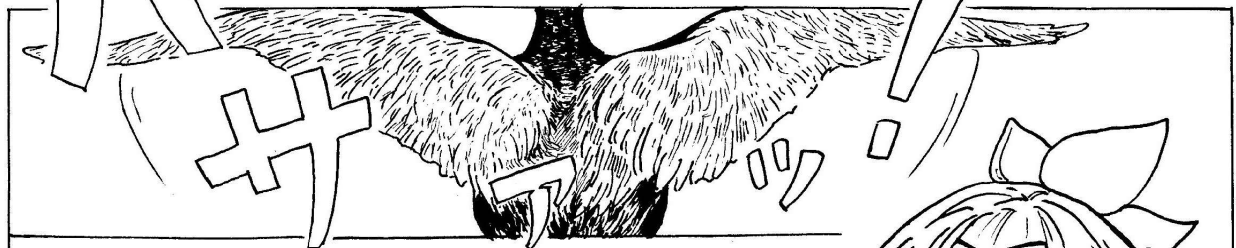
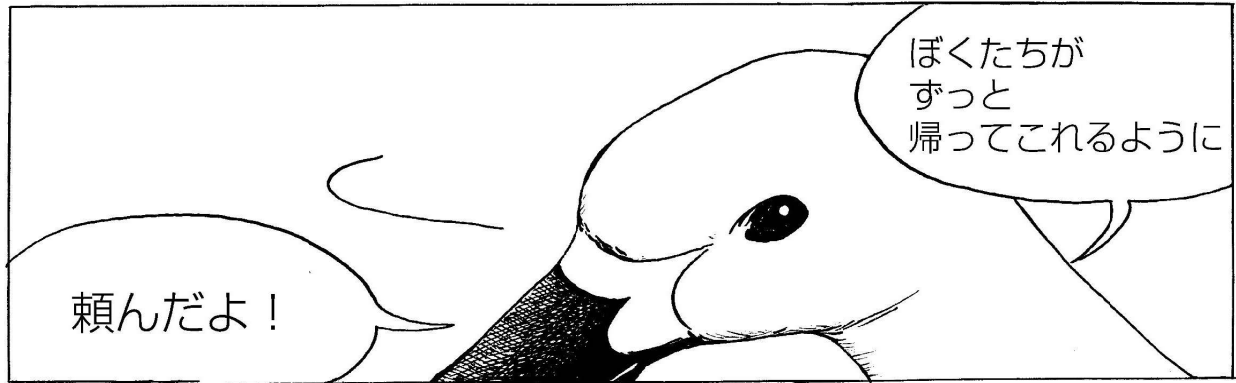
里潟の
魅力を

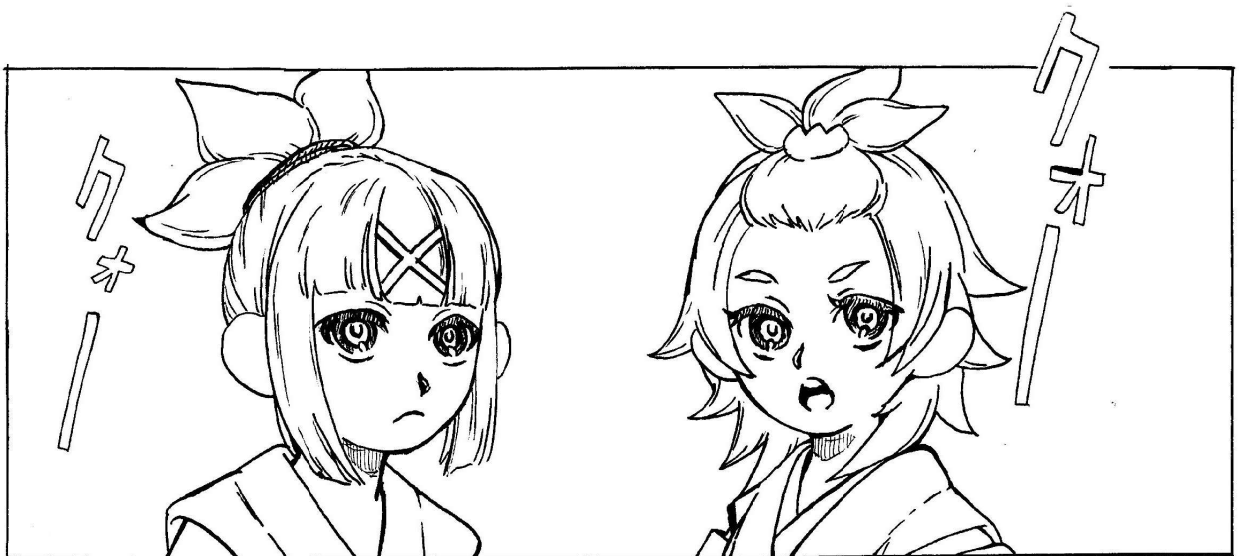
だから
伝えてほしい



都市と自然が
共存する新潟は

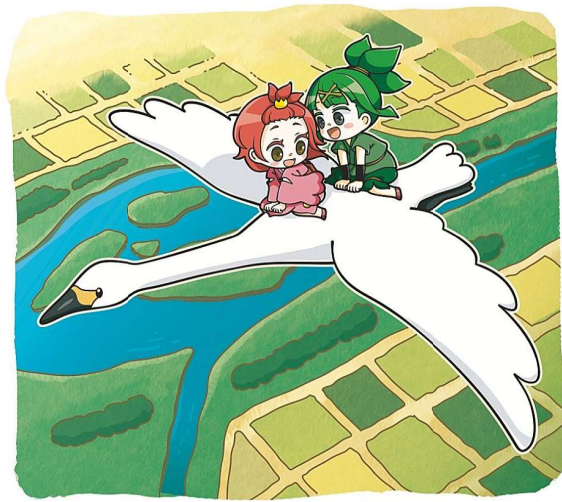
守るべき場所だ
ということを





本冊子掲載のマンガは、開志専門職大学アニメ・マンガ学部臨地実務実習「文化啓発施設運営実務」の一環として、学生チームにより制作されました。

※本冊子の無断複製・転載は法律で認められた場合を除き禁じられています。
©新潟市



国際湿地都市
NIIGATA

マンガで学ぶ新潟市の「潟」 白鳥の別荘 里潟ーハクチョウから学ぶ潟と自然ー

令和8年3月発行

発行 / 新潟市環境部環境政策課

〒951-8550 新潟市中央区学校町通一番町 602-1

TEL 025-226-1363 FAX 025-222-7031

制作協力 / 開志専門職大学 アニメ・マンガ学部 「潟マンガ」制作チーム

取材協力 / 新潟水辺の会 ビュー福島潟 佐渡水鳥・湿地センター

参考文献 / 潟のデジタル博物館



潟のデジタル博物館